(27) ニンジン ア 殺菌剤

/ 权图剂	1	I	I		\-\f_	ш	بس	<i>→</i>		H		-	
						用	病	害	虫	名.			
	_		う	菌	黒	軟	斑	し					
	系												
			ど										
	/-d-	FRAC			葉			み					V. # # #
農薬名成分名	統	コード	2	核		腐	点						注意事項
			, ,			//~1	7111	-					
	<i>h</i>		,		枯			腐					
	名		J										
			,±	, '	, _	.4	, 	,±					
			抐	病		扚	炿	抐					
アフェットフロアブルペンチポッラト	アミト	7			0								
アリエッティ水和剤オヤチル	有機リン	P07			0			_					
アミスターオプティフロアブル アゾキシストロビン・TPN	混合剤	11·M05	0	0	0		0	0					
カ ス ミ ン ボ ル ド ー カスガマイシン・塩基性塩化銅	混合剤	24·M01			0	0							
カンタスドライフロアブルボスカリド	アミト゛	7			0		0						
ク プ ロ シ ー ル ド 塩基性硫酸銅	無機	MO1			0		0						
コ サ イ ド 3 0 0 0 水酸化第二銅	無機殺菌	MO1			0								
シグナムWDGピラクロストロビン・ボスカリド	混合剤	11.7	0		0		0						
ストロビーフロアブルクレソキシムメチル	ストロヒ゛ルリン	11			0		0						
スターナ水和剤キキソリニック酸	その他	31				0							
スミレックス水和剤プロシミドン	シ゛カルホ゛キシイミト゛	2		0									
セイビアーフロアブル207㎏排灯ル	その他	12		0									
ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0 TPN	その他	M05			0								
トリフミン水和剤トリフルミゾール	SBI	3	0										
ファンタジスタ顆粒水和剤ピリベンカルブ	その他	11	0	0	0		0						
フロンサイド水和剤フルアジナム	その他	29	Ŭ		0								
ベルクートフロアブルイミノクタジンアルバシル酸塩	その他	MO7	0	0			0						
ボ タ ニ ガ ー ド E S ボーベリア・バンアーナGHA株 分生子	生物農薬		野						\vdash				野:【野菜類登録】
ポリオキシンAL水和剤 ポリオシン複合体		19	-7		0				\vdash	_			TV BTV/IT/MS-marging
ポ リ ベ リ ン 水 和 剤 イミノクタジン酢酸塩・ポリオオシン	混合剤	M07·19			0		0			+	_		
マスタピース水和剤シュードモナス ロデシア	生物農薬	NC			<u> </u>	野							野:【野菜類登録】
日 ネ ポ ン 水 和 剤 /ニハフェノールスルホン酸銅	有機銅	MO1	0		0	11	0			_			er : 1 er / N / N / N / N / N / N / N / N / N /
コニフォーム粒剤アゾキシストロビン・メタラキシハM	混合剤	11·4	9		\odot		9	0		-			
$\frac{1}{2}$ $$		2			0		0	0	\vdash	-			
					0		9	-	\vdash	-			
I C ボ ル ド ー 6 6 D 塩基性硫酸銅		MO1				田子				-			mz .
Z ボ ル ド ー 塩基性硫酸銅 は かいがいがいがいがい トープログラ は ま は は は は は は は は は は は は は は は は は		MO1	0 - /	0.71.1		野		L.,					野:【野菜類登録】

注) イミノクタジン酢酸塩とイミノクタジンアルベシル酸塩は,成分が「イミノクタジン」として取り扱われるので,使用の際は有効成分の総使用回数を超えないように注意する。

(27) ニンジンイ 殺虫剤

1 _ 权虫剂													
			適用病害虫名										
	系		アブ	キア	ネキ	ハスモ	コ ト	ヒョウタ	ヤサイ	ネグサレ	ネコブ		
農薬名成分名	統	I R A C コード	ラム		リム	ン	ウ	ンゾ	ゾ	セン	センチ		注意事項
	名		シ	ゲ	シ	ヨト	ム	ウムシ	ウム	チュゥ	ノュウ		
			類	ハ	類	ウ	シ	類	シ	類	類		
アクセルフロアブルメタフルミゾン	その他	22B				0		0					
アクセルベイトタタフルミゾン	その他	22B			0	0							
ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 シペルメトリン	ピルスロイト゛	3A					0						
ア ファーム 乳剤 エマメクチン安息香酸塩	マクロライト゛	6				0							
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 ジ/テフラン	ネオニコチノイト゛		0					7					ト:【トビイロヒョウタンゾウムシへの登録】
エ ル サ ン 乳 剤 PAP	有機リン	1B	0			0	0						
カスケード乳剤フルフェノクスロン	IGR	15					0						
ガードベイト A ペルメトリン		3A			0								
コテツフロアブルクロルフェナピル	その他	13		0			0	0					
ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤 BT		11A				野	野						野:【野菜類登録】
ネマキック粒剤 イミシアホス	殺線虫	1B								0	0		
ネ マ ク リ ー ン 粒 剤 ビ ー ラ ム 粒 剤	殺線虫	7								0	0		ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウへの登録
ネマトリンエース粒剤ホスチアゼート	殺線虫	1B								0	0		
バ イ デ ー ト L 粒 剤 オキサミル	カーハ゛メート	1A								0	0		
フ ォ ー ス 粒 剤 テフルトリン		3A			0								
フェニックス顆粒水和剤フルベンジアミド		28					0						
プレオフロアブルピリダリル		UN				0							
マ ラ ソ ン 乳 剤 マラソン	有機リン	1B	0	0					0				
モスピランSL液剤アセタミプリド	ネオニコチノイド	4A	0										
ラ ン ネ ー ト 4 5 D F メメシネル	カーハ゛メート	1A	0			0	0						
ロムダンフロアブルテブフェノジド	IGR	18					0						

(27) ニンジン ウ 土壌消毒剤

	<u>/ 工物</u>	农/门节川																		
												適	用	病	害	虫	名			
									ケ	ネ	ハ	コ	セ	ネ	ネ	萎	ſĭ	し	紋	
											11	ガ		グ	コ					
										キ	IJ		ン	サ	ブ					
								RAC			ガ	ネ		レ	_			み		
	農	薬	名		成	分	名	コード		リ		A	チ	セ	セ					注 意 事 項
)IX	*	^H		1300),	7 H	I:殺虫			ネ			ン	ン	凋	ぶ		羽	江 心 争 次
								F:殺菌		ム	λ.	シ	ユ	ナチ	チ			腐		
											ム	類		フュ	ユ			牓		
										シ	シ	幼	ウ		ゥ					
														ウ	_					
									ラ	類	類	虫	類	類	類	病	病	病	病	
ガ	スタ	•	微 粒 粒	剤がり	, Y " P			I:8F							0	0		0		
バ	スア	ミド		剤 ′ ′	//											0				
キ)	-	パ	一 カーハ`		な塩		I:8F							0			0		
ク	ロー	/• L	クリ	ンクロル	ピックリン			I:8B	0	0	0		0				0	0	0	
ク	口	ピク	8	0						_	_		_							
K	ジョ		クリ	ンクロル	こ。クリン			I:8B		\odot	0		0							
K	口	ク ロ		ル																
ク	ロル	ピクリ	レン 錠	剤クロルル				I:8B					0						0	
ソ	1	IJ	_	ンクロル				I:8B•8A						0	0			0		
ダ	ブル	クロス ト	ッパ	<u>—</u> 2011	ビクリン・	· D-D		I:8B.8A						0	0	0		0		
テ		口		ン																
D	(С	油	剤 D-D				I:8A				\odot		0	\odot					
D		_		D																
デ	ィ・ト	/ /				アネート・D-	D	I:8F•8A					0			0		0		
ト	ラペ:	ックサ	イド油	剤メチル	<i>{YF</i> オシラ	アネート		I:8F					0							

(27) ニンジン エ 残渣処理剤

農薬名	成分名	I R A C	使用目的	注 意 事 項
キルパー	カーバ、ムナトリウム塩	8F		使用目的以外での使用不可

オ 病害虫防除法 (ニンジン)

(ア) うどんこ病 Erysiphe heraclei

(防除のねらい)

春播きでは $5 \sim 7$ 月,夏播きでは $9 \sim 11$ 月に発生する。病原菌は被害部で越年するようである。

(耕種的防除法)

過度の密植や多肥栽培をしない。

(イ) 菌核病 Sclerotinia sclerotiorum

(防除のねらい)

茎が根頭部に付着した部分から発病し、茎および根に急速に進展する。茎は熱湯をかけられたように変色し倒れる。根は軟らかくなり、やがて外側に白色綿毛糸状の菌糸を生じ、後に黒色、ネズミ糞状の菌核を形成する。本菌は、菌核が第一次伝染源となるので、罹病残渣をほ場に残さないように努める。本病は気温が15~20℃で湿度が高い場合に多発する。

本菌は多犯性で、ニンジン以外にキュウリ、スイカ、トマト、レタスなど37科、172種の植物に 寄生する。

(耕種的防除法)

- (1)病気に強い品種を選ぶ。
- (2) 病株は早めに抜き取り、収穫後の残渣は持ち出す。
- (3) 夏季に約1か月間の湛水処理で菌核を腐らせる。

(ウ) 黒葉枯病 Alternaria dauci

(防除のねらい)

罹病植物の残渣が伝染源と考えられている。20~25℃が発病適温で30℃を超えると停滞する。 年により急激に進展することがあるので、防除時期を失しないようにする。

(耕種的防除法)

肥料切れをさせないことと乾燥防止を図る。

(エ) 黒斑病 Alternaria radicina

(防除のねらい)

第一次伝染源は罹病植物、特に保菌種子が第一次伝染源となり発芽時に立枯れを起こしやすい。 病原菌は有傷部から容易に侵入して根、葉、葉柄、花などに発病する。肥培管理の悪いほ場で発 生するので健全な生育と健全種子が決め手となる。

(耕種的防除法)

- (1) 健全種子を用いる。
- (2)肥料切れをさせない。

(才) 軟腐病 Erwinia carotovora subsp. sarotovora

(防除のねらい)

ハクサイの項参照

(力)斑点病 Cercospora apii

(防除のねらい)

本菌は主として菌糸塊の形で種子や罹病植物の茎葉に付着して生存し、これに分生子を形成して伝染する。胞子の発芽適温は28℃で主に気孔から侵入し、発生は気温の高い時期で肥料切れおよび過乾燥状態で多発する。

(耕種的防除法)

- (1)肥料切れを避ける。
- (2)極端な乾燥を避ける。

(キ) キアゲハ

(防除のねらい)

大発生することはないが、1頭の幼虫の食害量が多いので、ほ場での発生動向を注視する。

(ク) ネキリムシ類

(防除のねらい)

ハクサイの項参照

(ケ) ヨトウムシ (ヨウトガ)

(防除のねらい)

キャベツの項参照

(コ) ヒョウタンゾウムシ類 (ハイイロサビヒョウタンゾウムシ)

(防除のねらい)

ゴボウの項参照

(サ) ヤサイゾウムシ

(防除のねらい)

多食性であるが、ニンジンを好んで加害する。幼虫の寄生時期は11~3月の冬季である。幼虫は芯部の茎間に生息するので発生初期の防除に努める。

(シ) ネグサレセンチュウ類、ネコブセンチュウ類

(防除のねらい)

サツマイモのセンチュウ類の項参照